



「見てー泥んごだよ」 田んぼに歓声！（津森小の田植え）



益城町

議会だより

清水

せい すい

平成25年(2013) 6月定例議会 No.52

青田が広がる益城平野



学校自慢 益城中学校

P12

組合議会からの報告  
議員研修

P11

6月議会の賛否表討論

P10

常任委員会レポート

P8~P9

一般質問5名が町政を問う

P3~P7

平成25年度一般会計  
補正予算など審議

P2

# 6月定例議会

## 待機児童 緊急支援助成事業 など補正予算を可決

平成25年度第2回定例議会が6月11日から17日まで会期7日間で開催され、平成25年度補正予算や条例関係等15件を可決・認定した。また請願1件については不採択とした。

主な補正は待機児童緊急支援助成事業781万円、地域団体への助成事業210万円。条例関係では町長ほか職員の給与引き下げ関連と、熊本市への消防事務委託に伴う規約など。

### 待機児童対策として認可外保育園に助成金

認可外保育所に通う児童の家庭に補助金の助成が確定した。

町立及び認可保育園に入れず、仕方なく認可外保育園等に通う児童については、0歳児11,000円、1歳児3歳児9,000円、4歳児5歳児3,000円を基準に補助を行うもの。

町立または認可保育園に通園する2子及び3子に対しては補助がなされているが、認可外保育園等に通う家庭に対しては補助がなかったため、今回の補正により待機児童の緊急支援助成事業として7月1日から実施が確定し



町立保育所

た。なお、この事業は今年度限りであり、26年度以降は認可保育園の拡充を図ることで待機児童をなくすよう取り組む。

### 職員の給与引き下げ 来年3月31日まで

国家公務員の給与改定及び臨時特例に関する法律の施行に伴い、7月1日から来年3月31日まで特別職及び職員員の給与が引下げられた。今回の改正は、国の厳しい財政状況、及び東日本大震災に対する必要性に鑑み、国家公務員の人員費を昨年度から2年間削減しており、本年度、地方交付税の減額に合わせ、国家公務員と同じように地方公務員の給与削減要請によるものである。引き下げ率については、平均2.6%になる。町長など、特別職については、課長クラスの3.3%に合わせ削減される。

### 益城町と熊本市の間で消防事務委託が決定

国の消防組織法改正に伴い、熊本県においても県内を4つのブロックに分けて広域化を推進してきた。これを受けて県の広域化推進計画に基づく中央ブロック広域化推進協議会を設立し、消防防広域化の方式、消防署の名称、財産の取り扱いなど協議が行われてきた。今回消防事務を現在の西原村との一部事務組合方式から、熊本市への事務委託方式への変更をするため、熊本市の議会と益城町の議会において同文議決が図られ、決定されたものである。



消防管制システム (熊本市)

### 「年金2.5%削減を廃する意見書」を不採択

臨時国会で成立した年金2.5%削減法案を廃止する意見書採択の請願が提出されたが賛成少数で不採択となった。

## 一般質問



宮崎 金次議員

### 臨時財政対策債に頼る財政運営でよいのか

現在の住民サービス維持上やむを得ない

### 広安グラウンドに町民専用の出入口・通路を

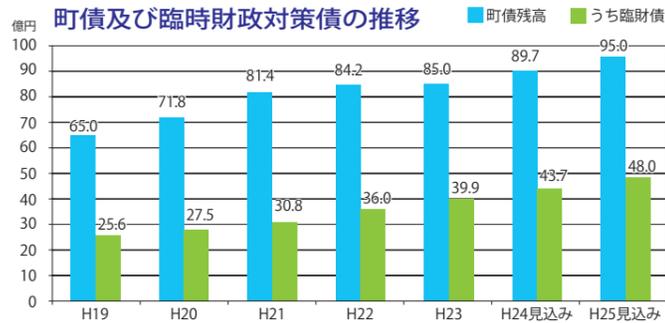
町民専用の出入口・通路を前向きに検討する

#### 臨時財政対策債が増え過ぎていないか

**宮崎** 平成25年度の町の予算によれば、歳入100億7,000万円の中で、税収の不足分を補うために発行された地方債は8億5,000万円、その中の5億4,000万円が臨時財政対策債であり、更に本年度末の町の借金95億5,000万円のほぼ半分の50億円弱が臨時財政対策債である。このように臨時財政対策債による借金を子や孫に押し付ける財政運営は問題があるのではないかと。

#### 住民サービスを維持するためには臨時財政対策債は必要

**町長** 臨時財政対策債は、地方交付税の財源が不足した場合、特例で国の認める範囲で地方債を発行し、その返還分は次年度の地方交付税で交付される事として、平成13年度から始まったものである。町の債務については質問の通りであるが、臨時財政対策債を発行せずに住民サービスを維持していくには現状からみて大変厳しい状況にあり、今後とも極力無駄のないような形で取り組んでまいりたい。



#### 広安第1町民グラウンドの使用状況及び使用増大策について

**宮崎** 大きな資金を投入して整備した広安町民第1グラウンド(旧山本山跡地)の使用実績及び使用を増加させるための方策、更に東側グラウンドへの専用出入口及び通路の設置について伺う。



広安町民第1グラウンド東側への出入口

#### 東側グラウンド専用の出入口等については検討する

**教育長** 東側グラウンドは約10ヶ月間で50日平均3時間の使用で、西側のグラウンドはほぼ毎日使用され、平日で4時間、土・日曜日で8時間使用されている。東側使用について引き続き、各種団体等への呼びかけ、回覧、チラシ、広報ましき等を活用して宣伝したい。更に東側グラウンドへの町民専用の出入口及び通路については、必要であると思われるので前向きに検討したい。

#### 廃屋や樹木等による隣人間のトラブルの現状と町の対応について

**宮崎** 「隣の住宅の樹木が茂り過ぎて迷惑している」、「住宅が管理されておらず、気持ちが悪い」などの隣人間のトラブルの現状と、これらに対する町の取組について伺う。

#### 相談等の場合、手続きを踏み慎重に対処している

**町長** 昨年の町への相談は、廃屋について1件、樹木管理について41件があった。町では、苦情・相談があった場合は、地図で特定し、現地を確認、敷地の状況を写真にとり、固定資産台帳により地番の特定と所有者の確認を行い、現況写真を同封して、敷地の適正管理をお願いする文書を所有者等に郵送しているが、本件は私有財産に関するものであり、各区長さんとも連携し特に慎重に対処している。



稲田 忠則議員

### 西土地区画整理事業地内に進出予定しているイズミ（ゆめマート）の立地計画の進捗状況は

整備計画を作成し、道路交通管理者協議を進めたい

進捗に明るい道筋が見えていない、今後の見通しは

稲田 昨年、立地協定を結んで10カ月が経過している。いまだに明るい道筋が見えないのは、何か重大な原因があるのではないのか。交通アクセスだけではなく、都市計画法上の問題があるのではないのか。町の対応はどのように考えて前に進んでいるのか。今後の見通しについて、何らかの明るい情報発信ができるのかを伺う。

都市計画上の考えを整理する必要がある

町長 県道第二空港線など周辺道に与える影響を、交通量配分と交差点解析などで説明し、関係機関において問題点を確認するまで進んでいる。西土地への商業施設立地、東土地の市街化区域編入線引き見直しには、都市計画決定の手續が必要となる。益城台地全体としての適切な商業規模など、都市計画上の考えを整理した上で整備計画を作成し、道路交通管理者協議を進めたい。

西に商業地ができると、東・中地区の商業地はどうなるのか

稲田 イズミ（ゆめマート）進出の話があり町が独自に判断をした。その折り返の都市計画課に相談すべきだったと思う。順序を追っていけばこれだけ時間が長引かなかつたと思う。

規制をかけられた地域であり、今後の交渉の経過をみながら取り組んでいきたい

町長 益城町の場合、市街化調整区域、農振区域、あるいは景観条例等土地に関する規制をかけられた地域である。それを踏まえた上で県との協議が必要だったかもしれないが、それによって話が前進したかどうかは疑問である。この65ヘクタールの東地区・中地区・西地区のバランスの問題であるが、町として東に3ヘクタール、中に1ヘクタール、西に3ヘクタール



西土地区画整理事業地

と合計7ヘクタールの商業施設が必要なのですかと聞かれれば、町の立地条件あるいは、3万3,000人という人口を考えた場合、7ヘクタールの商業施設を県が許可してもらえば結構なことと思う。しかし、例えば3ヘクタール

で良いのではと言われるれば、当面の町づくりの計画としては可能ではないかと思う。今後の交渉の経過をみながら取り組んでいきたいと考えている。



甲斐 康之議員

### 生活保護基準の引き下げで就学援助金への影響は

生活扶助基準の見直しによる影響が生じないようにしたい

### 待機児童解消に向けての取り組みは

定員の枠を超えた弾力的な運用を図りたい

就学援助金の拡充を

甲斐 就学援助金の準要保護者の認定基準は、生活保護基準の1.05倍未満の収入世帯となっている。安倍政権の社会保障給付抑制により、生活保護費の削減が行われる。基準が下がることにより、今まで就学援助金を受けていた世帯が対象外となるのではと懸念している。経済的理由で就学が困難とならないように、援助金の認定基準拡充を求めたい。

また、この制度の新入学準備費が入学後になっている。これを入学以前に支給するように改めたらどうか。

見直しは考えていない

教育長 生活扶助基準の見直しによる影響が指摘されているため、国からは就学援助については引き続き補助対象とするよう通知が出されている。町としても、準要保護者の見直しに影響が生じないようにしたい。

新入学生徒に対する入学準備金は、対象となる家族の収入が確定するのは5月中旬であり、かつ、申請が入学後に

なるため事前の把握は困難であり、前向きな返答はできない。

待機児童解消の取り組みは

甲斐 当町の待機児童は、現在100名程と聞いている。昨年309名程の出生届け出がある。転入など考慮すると、今後も増加が予想される。今の保育所の定員数が足りないのではないのか。

定員の枠を超えた運用を考えている

町長 女性の就労形態の変化や、景気低迷などで子供を預けて働かなければならない親が増え、待機児童が増えている背景にある。町では、年次的に認可保育所の整備を進めて、定員の拡大を図ってきた。しかし、本年4月現在、30名の子どもが認可外保育所に通園されている。

各保育所において受け入れ態勢が可能な場合は、定員の枠を超えた弾力的な運用で、待機児童の減少に努めたい。

詰め込み保育にならないか

甲斐 定員の弾力的運用で、基準を超えて、無理やり詰め込んだりしないこと。二元気臨時交付金で公立保育所について施設の整備などに活用し、保育所の増築や増加、保育士の待遇改善などに取り組んだらどうか。

国の基準の許容範囲

町長 定員プラス20%は国の基準で許容されている。認可保育所の合計定員は400名で120%の480名は受け入れられると考えていたが、結果的に387名しか入園できず待機児童ができた。来年には保育所ができることや保育所に対する指導や協議を重ねて、「待機児童はいませんよ」と言える町にしたい。

町外医療機関での乳幼児予防接種手続きの簡素化を

甲斐 町外の医療機関で予防接種を受ける際に、その都度役場に接種の証明書を申請している。今年の5月以降に生まれた乳幼児は改善がされている。4月以前生まれの乳幼

児についても簡素化を図るべきではないか。

町長 簡素化の要望があることは把握している。改善については医師会、関係機関と協議している。早急に対応していきたい。

原発の再稼働、輸出についてどう考えるか



甲斐 安倍内閣は、原発の安全性も確認できていない中、再稼働を急ぎ海外に原発の輸出セールズに奔走している。原発は即時ゼロにして、再生可能エネルギーへの転換を目指すべきだと思うがどう考えるか。

町長 この場での答弁は控えたい。しかし、太陽光発電については積極的に取り組んでいる。



江越 信保議員

### 非認可保育園への通園児に対して助成を

25年度補正予算に計上し、7月1日からの施行を考えている

### 入場券の裏に宣誓書を印刷し、期日前投票の簡素化をはかれ

現段階では考えていない、今後の検討課題とする

非認可保育園児に  
補助金制度

**江越** 直営及び認可保育園児に対しては2人目は半額免除、3人目が全額免除となっている。定員につき入園できず、非認可保育園に入所させた場合は補助がない。何らかの助成を行う必要があるのではないかと。

#### 今回の補正予算に計上した

**町長** 直営及び認可保育園を希望しても入所できない待機児童の30名が非認可保育園に通園している。町の対応として今回の補正予算を組んだ。

#### 補助金は時限的なものか

**町外通園者も該当するのか**

**江越** 補助金の限度額と基準は。更に町外通園者に対しても適用するのか。また今年度限りか。

#### 基本的に

待機児童はつぐららない

**町長** 0歳から5歳までの年齢別に、補助限度額1万1,000円から3,000円を助成する。今年7月1日からの施行で今年限りであり、基本的には待機児童はつぐららない。

町立保育園も私立に合わせ  
て開園時間を30分早めては

**江越** 町立保育園は私立に比べて開園時間が30分遅い。私立と同時間の午前7時にできないか。これは働く家庭にとっては大変助かる。

#### 今後の課題

**町長** 各保育所において延長保育を実施している。私立と同様に早朝7時の開園となると、勤務体制の変更や保育士の問題、財政負担などがあり、今後の課題とする。

投票所入場券の裏面に  
期日前投票宣誓書を  
印刷を

**江越** 不在者投票、期日前投票が定着している。この種の投票の簡素化と、投票率の向上を図るうえからも、家庭に配布される投票所入場券(はがき)の裏面に宣誓書を印刷し、各人、あらかじめ記入をして期日前投票所に持参することはできないか。近隣の市町村をはじめ全国でもこうした傾向にある。



期日前投票風景

検討課題であるが現段階では考えていない

#### 総務課長

本町では期日前投票用紙請求書兼宣誓書となっており、投票申請者が記入の後、職員が確認後、投票用紙を申請者に交付することになっている。

不正防止の観点からも、入場券の裏面に印刷することは現時点では考えていない。

しかしながら近隣の市町村の取り組み状況を見て検討課題とする。



園庭で元気に遊ぶ園児たち

防犯カメラによる犯罪防止抑止力効果は、  
町民の治安に対する  
不安の軽減に繋がる

**坂田** 防犯カメラの果たす役割は、犯罪被害の未然防止、更に犯罪の予防などに役立つことが広く認められている事は言うまでもない。この利点とともに、プライバシーが侵害されるのではないかとという恐れがあることは私も承知しているが、防犯カメラは町民を守るもの、役立つためのもの、そういった点に重きを置きたいと思っている。

当町の公的施設の設置状況はどうであるか、また町として防犯カメラの設置基準を設けてあるか伺う。

防犯カメラを設置していない施設は警備会社への委託を行っている

**町長** 町の設置状況は、役場庁舎会計室の窓口及び出入り口、葉山荘、交流情報センター、各小中学校、保育所、幼稚園にそれぞれ1台ないし2台設置している。益城町保健福祉センターの児童館の防犯等については2人体制で配置、また防犯ブザーをとりつ

けている。現在のところカメラ設置の計画はない。なお、防犯カメラを設置していない施設については、警備会社への委託を行っている。防犯カメラの設置基準については、現在のところない。

#### 人目が届きにくい公園や 道路への設置の検討を

**坂田** 町内には、総合運動公園や秋津川河川沿い、また小さな公園が56カ所、合わせて58カ所の公園がある。中には人目が届きにくい公園や道路もある。子どもたちの安全のために、そういった場所に防犯カメラの設置を検討する考えはないか伺う。

現在検討はしていないが、  
子ども達を守る意味での研  
究課題として取り組みたい

**町長** 全国的に多種多様の犯罪が増加しており、犯罪の抑止力として防犯カメラの設置は有効な手段だと考える。

一方で、個人のプライバシーの利益との関係をどのように調整するかが重要課題である。

防犯対策として近隣住民同士で声をかけあったり、防犯ボランティア団体でパトロー

高齢者を守る対策と  
して

**坂田** 町内に親族がいないひとり暮らしの高齢者の方の安全、安心の確保をして頂くために、役場につながるテレビ電話の無料設置を検討する考えはないか。

今年4月1日現在629名  
の世帯を把握している

**町長** 町在住のひとり暮らしで65歳以上の高齢者は、社会福祉協議会や民生委員の訪問活動情報のもと、要援護者ネットワーク台帳で管理し、見守り訪問活動などでひとり暮らしの高齢者が安心して地域で暮らしていけるよう支援している。

テレビ電話は、利用者のプライバシーや機器操作、管理体制等、検討を要する点はあるが費用対効果面などを考慮しながら、ただ課題とするだけでなく前向きに検討したいと思う。



坂田みはる議員

### 町内の安全対策として防犯カメラ設置検討の考えはないか

今後検討する必要があると考えている

### ひとり暮らしの高齢者世帯と役場をつなぐ TV電話の無料設置を

費用対効果面など考慮しながら前向きに検討する



天井に設置された防犯カメラ

# 6月議会 常任委員会しポート



広安西小学校増築校舎

## J A 選果場の機能強化

### 建設 経済



J A かましき選果場視察



町道テクノ工業団地線工事現場視察

建設・経済常任委員  
会では、付託された2  
議案について審査を行  
い、いずれも原案の通  
り全会一致で可決・認  
定した。

建設・経済常任委員  
会では、付託された2  
議案について審査を行  
い、いずれも原案の通  
り全会一致で可決・認  
定した。

建設・経済常任委員  
会では、付託された2  
議案について審査を行  
い、いずれも原案の通  
り全会一致で可決・認  
定した。

# 6月議会 常任委員会しポート

### 総務

## 熊本市への消防 事務委託につい て可決

総務常任委員会で  
は、付託された「平成  
25年度益城町一般会計  
補正予算」、「上益城郡  
益城町と熊本市との間  
における消防事務の委  
託について」、「益城町  
職員の給与の臨時特例  
に関する条例の制定に  
ついて」の3議案につ  
いて慎重な審査の結  
果、いずれも原案のと  
おり可決した。

この3案の中で、「上  
益城郡益城町と熊本市  
との間における消防事  
務の委託」については、  
2日間にわたり、熊本  
市へ消防事務を委託し  
た場合の不安事項を中  
心に活発な討議が行わ  
れた。

主なものとしては、  
指揮命令系統の問題、  
消防団との関係、救急  
車の運用に関する事  
項、救急救命士の配置

現地視察について  
は、広安西小学校校舎  
増築工事では、隣接す  
る地域再生道路からの  
騒音に対して、対策を  
とる必要を確認した。  
更に益城中央小学校教  
室前テラスのウッド改  
修工事について確認し  
た。

、

## 保健福祉センター及び児童館 順調な運営開始

### 福祉

福祉常任委員会で  
は、付託された2議案  
について審査を行い、  
関係課長から説明を受  
け、慎重審査の結果、  
いずれも原案の通り全  
会一致で可決した。

現地視察について  
は、益城町保健福祉セ  
ンター及び児童館の施  
設概要、オープンから  
の利用・運営状況等に  
ついて担当職員から説  
明を受けた後、児童館  
の事業状況を視察し、  
順調に運営されている  
ことを確認した。

また、「年金2.5%  
削減法」を廃止する意  
見書採択に関する請願  
については、紹介議員  
から説明を受け、賛成  
少数で不採択とした。



保健福祉センター及び児童館現場視察



**組合議会は  
こんなことを  
やっています**



環境クリーンセンター

御船地区衛生施設組合の4町で構成され、組合議会の議員は8名(各町2名)で、管理者は甲佐町長です。し尿処理は、私達の生活に

**益城・嘉島・西原  
環境衛生施設組合**

寺迫にあるクリーンセンターは、益城・嘉島・西原の2町1村で構成され、組合議会議員は6名(各町村2名)で、管理者は益城町長です。当施設は平成元年に設備され、毎年ゴミの搬入が増加傾向にありましたが、24年度の搬入量は1万6,256トン、最近の搬入量は微増となつて

**御船地区衛生施設組合**

環境クリーンセンターは、御船川をはさんだ御船インターチェンジの対岸にあります。御船・嘉島・益城・甲佐町の4町で構成され、組合議会の議員は8名(各町2名)で、管理者は甲佐町長です。し尿処理は、私達の生活に

**組合議会から  
こんにちは!!**

九州中央自動車道建設促進大会が7月5日延岡市で開かれました。総会には熊本県と宮崎県側の3市9町議会から議員ら約300人が出席しました。

**九州中央自動車道の  
早期整備決起大会  
開かれる**



クリーンセンター

このうち64%が益城町からの搬入です。現在1日16時間の運転稼働で対処しています。平成24年度から始まった廃プラスチックのゴミ分別は徐々に浸透してきているようです。自然に返る物は、なるべく自然に返しゴミの減量に努めたいものです。



九州中央自動車道早期整備決起大会

齊藤会長(熊本市議会議長)が「御船」延岡間全長95キロのうち、まだ8キロしか整備されておらず、沿線住民は危機感を抱いている。九州の一体的発展に欠かせない路線であり命の道でもある本路線の早期実現に向けて、国や関係機関に対する要望活動を展開していかねばならない」とあいさつ。

今年度の事業費は熊本県側48億円、宮崎県側は40億円。決起大会では、新直轄区間である「嘉島」山都間」の早期完成、「山都」延岡間」の早期事業化などの大会決議を採択しました。

**編集  
後記**

豪雨による被害もなく、7月8日熊本地方の梅雨明けが発表され、その後一挙に強烈な真夏の洗礼を受けています。広報委員会では、6月議会より広報委員長の中村議員が議長に、広報委員長に江越議員が選ばれ、中村議員の抜けた後に不肖私が新たに広報委員となり、早速編集後記を任されました。

議会だより「清水」は、あくまでも議員の手づくりとして、議会の状況をわかりやすく町民の皆様にお伝えするのがそのつとめであると思います。皆様からの御意見、御指導をお待ちしております。

(文責 宮崎金次)



**議会広報編集特別委員会**

- 委員長 江越 信保
- 副委員長 坂田みはる
- 委員 竹上 公也
- 委員 甲斐 康之
- 委員 野田 祐士
- 委員 宮崎 金次

**《6月議会での議案等への賛否の状況》**

事件名	結果	野田 祐士	高橋津代美	宮崎 金次	坂本 貢	甲斐 康之	寺本 英孝	坂口 政弘	石田 秀敏	坂田みはる	森上 祐一	竹上 公也	福永 誠一	稲田 忠則	荒牧 昭博	渡辺 誠男	山内 親宣	江越 信保	中村 健二	
平成24年度一般会計補正予算(第6号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度住宅新築資金等貸付特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度公共下水道特別会計補正予算(第4号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
益城町税条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
益城町国民健康保険条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度一般会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度公共下水道特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別会計設置条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
益城町と熊本市との間における消防事務の委託について	可	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○
益城町職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について	可	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「年金2.5%削減法」を廃止する意見書採択に関する請願	不	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 採：採択 不：不採択 可：可決 否：否決 棄：棄権

訂正：前号(No.51)の13ページ≪3月議会での主な議案への賛否の状況≫の中で、事件名「和解及び損害賠償額の決定について」及び「監査委員の選任同意について」の2件において、「欠」(欠席)と記載していましたが、「棄」(棄権)に訂正します。

**消防事務委託で討論**

**反対**

甲斐 康之

すべての権限を熊本市に委託することは、多くの問題がある。議会への説明は、本年の1月と2月の2回だけの開催にも係わらず、3月には統合を決めている。

6月議会で決定してからの住民説明会では、町民の了解は得られないと思う。熊本市からの支援ではなく、熊本市への応援が主体となり、益城町の救急体制は後退することになるのではないかと。広域化によって住民サービスが低下してはならないので反対する。

**賛成**

野田 祐士

熊本市と消防の広域化によって、消防力の強化、救急体制の迅速化が図られ、住民の生命財産、更に身体を守る強固な体制が確立される。

**反対**

荒牧 昭博

県は消防広域化推進計画を作成し、県内を4つのブロックに分けて広域化を進める協議会を設置したが、メリットがないとして昨年10月に城北及び城南ブロックは解散した。しかしながら、高遊原南消防本部は事務委託方式で合意し、協議を継続してきた。この間3年が経過したにも係わらず、議会や議員への説明がなく、ようやく今年、2回の説明がなされた。今後庁舎の建てかえに伴う付帯施設や、高度通信システムの更新費用、条例改正等の問題が議会決定後に双方の運営協議会で協議されるなど、不安材料がある。

**賛成**

竹上 公也

消防は火災や地震など、災害から住民の生命、財産及び身体を守る重要な自治体の責務である。近年の災害は日常の火災に加え、大規模な災害や、特殊な事件、事故が多発している。特に益城町については、空港やインターチェンジといった交通の要衝を抱えており、非常時の対応が危惧されている。広域化が成立することにより、高度な消防能力が期待できること、消防管制システムの出費も軽減され、住民の安心・安全の向上も見込まれることから賛成する。

# 皆で健康を考えよう

## 保健福祉センター

## 各種の健康教室を開催



新しく建設された「保健福祉センター」では健康で住みやすいまちづくりを目指して、40歳から74歳を対象に9月から「健康運動教室」を開催します。

「からだづくりプログラム」として、週1回、12回を1サイクルとして、昼の部、夜の部の2部制で開催し、「生活習慣病予防や介護予防の促進を図る」というものです。筋力測定やバランス感覚の測定などもあり、自分の体の年齢を知るよい機会です。楽しみながら健康づくりに挑戦するのも良いでしょう。

また、「益城町いきいき介護予防教室」も開催されており、現在は介

護予防を受けていなくても、運動機能が低下した方を対象に、各人にあつた機能訓練（パワーリハビリ）を専門家の指導で行っています。

「健康で楽しい人生」はすべての人の願いです。自身でできる健康管理、今からでも始めてみませんか。



保健福祉センター



## 益城中学校

今年4月新入生を迎え、全校生徒数が658名となった益城中学校では、5月26日、砂風の舞う過酷な状況をもとめせず、力強い体育祭を成功させました。



描くことの楽しさ 笑顔から伝わりますね

この体育祭には29名の美術部員の力作が花を添えていたのです。

3年生は、県立第二高等学校美術科受験の課題となる静物画に真剣トライ。「顧問の横手先生、赤星先生の良きアドバイスは描くことの自信につながります」と、部長の古川さん、礼儀正しく爽やかな笑顔でお話しを聞かせてくれました。感謝。

5名の3年生が、各団の象徴となる絵看板を担当し思いを込めて描き上げ、13名の1年生と11名の2年生が、入退場門をデザインしていたことを今回初めて知りました。体育祭の重要ポイントを担っている美術部員の皆さんの頑張りに頭が下がります。

日頃の活動は、「ルールを守って、楽しく、のんびり」をモットーに、イラストや水彩画、油絵など各自好きなものを描く充実の時間を過ごします。

完成した作品の一部は、校内の廊下に展示されているそうです。

「次に演劇部を紹介しましょう。体育祭での部活紹介で披露されたダンスを見て、「自分も本格的にダンスをやりたい」、「10年以上続けてきた水泳に勝る魅力を感じて」、「運動は得意ではないけど、劇がや



お腹から大きな声だし 基礎トレーニング中

りたかった」などそれぞれの思いで入部してきた1年生11名を迎え、18名となった演劇部は明るく元気一杯です。先輩後輩の関係には「尊敬♥信頼」という言葉が自然とみんなの口について出てきます。

作品は部長の近藤さんが、題材のあるものにアレンジを加え脚本作りに約1カ月かかったと言います。取材当日は、「ロミオとジュリエット」の稽古中。

夏休みには、施設での慰問公演、10月には学習発表会、顧問の上田先生、那須野先生のご指導もいたいただきながら、部員の心はひとつになって素晴らしい舞台にしてくれることでしょう。ご期待ください。

(取材 坂田みはる)